

戦いへの知恵を秘めた美しい仕掛け

狭間

姫路城の壁には 997 の狭間がある。縦長の長方形をした狭間は矢狭間、もっとコンパクトで正方形、円形、三角形をした形の狭間は鉄砲狭間であった。穴は 3 つの違った高さに位置していて、それは立ったまま、ひざまずいて、あるいは横になった位置でそれぞれ撃つためであった。狭間の形や位置が一律でないのは、実用性と見栄えの両方の目的のためである。